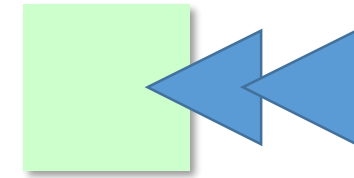


中期経営計画



株式会社 横浜港国際流通センター

Yokohama Port International Cargo Center Co.,Ltd.



**Yokohama Port International
Cargo Center Co.,Ltd.**

経営理念

経営理念は、基本方針と行動指針で構成します。

【基本方針】は、企業活動の意義を示し、【行動指針】は、企業活動と社員の行動における基本となる事項を示します。

【基本方針】

私たちは、安全・安心で環境にやさしい魅力ある総合物流施設を

※お客様に提供し、横浜港の振興に貢献します。

※お客様：横浜港で物流事業を展開する企業、当センターの入居企業・合築者及び従業員、施設利用者、地域社会等





**Yokohama Port International
Cargo Center Co.,Ltd.**

経営理念

【行動指針】

行動指針は、社員の認識を深めるとともに、社外に公表し、指針に沿った行動がなされているか確認し、対処します。

<p>1 お客様第一の行動</p> <p>お客様への適切な情報提供と誠実なコミュニケーションを基に、常に最善の施設とサービスを提供し、お客様の満足と信頼を獲得します。</p>	<p>2 公正な活動</p> <p>法令や社内規定の遵守はもとより、社会規範に則するとともに、公益性も認識し、公正に活動します。</p>
<p>3 地域社会や環境保全への貢献</p> <p>良き市民企業として、地域社会への参画と貢献できる活動に取り組み、信頼高めます。</p> <p>また、環境の保全や負荷の低減など持続可能性をめぐる諸課題に取り組みます。</p>	<p>4 健全な経営の推進</p> <p>経営に関わる様々な方々とのコミュニケーションを活かしながら、持続的な経営を目指します。人権を尊重するとともに、生き活きと働ける職場づくりと、人づくりを進めます。</p>



Yokohama Port International
Cargo Center Co.,Ltd.

中期経営計画

計画期間

2019年度から2021年度までの3年間

経営目標

長期目標の「自主自立した安定経営の確立」に向け、お客様満足度の高い施設と運営に取り組み、競争力の維持向上を目指します。

年 度	2019年度	2020年度	2021年度
入居率	物流棟 年間 97%以上 事務所棟 年間 85%以上		
売上高	22億円	22億円	22億円
経常利益	4億円	4億円	4億円
繰越損失	12億円	9億円	6億円
借入金残高	37億円	28億円	20億円
お客様の評価	アンケート評価で、全項目「評価 3」以上(普通以上)		



Yokohama Port International
Cargo Center Co.,Ltd.

中期経営計画

I 安全・安心、環境にやさしい 魅力ある施設の提供

- ① 施設・設備の拡充
- ② 防災対策の強化
- ③ 長期修繕計画の着実な実行
- ④ 環境保全の取組み
- ⑤ 国際コンテナ戦略港湾に
対応した機能の強化

III 地域社会への貢献

- ① 貢献活動の推進
- ② 活動のアピール



II お客様が満足できる施設運営

- ① 迅速かつ適切な維持管理
- ② サービスの向上
- ③ 迅速・確実な情報提供
- ④ 火災・地震等への安心の備え
- ⑤ 総合保税地域の充実
- ⑥ 物流棟管理組合や入居者との協働

IV 財務、組織の充実

- ① 安定経営を支える売上の向上
- ② 繰越損失の早期解消
- ③ 借入金の着実な返済
- ④ 資金の自己調達継続
- ⑤ 人材の育成
- ⑥ 将来の運営体制の調査検討

I 安全安心、環境にやさしい魅力ある施設の提供

「働く・集う・憩う」ことができる、魅力ある施設を、物流棟管理組合と連携し、提供します。

① 施設・設備の拡充

物流施設に求められる施設・設備の変化やお客様の声に対応、拡充します。

【主な取組み】

- ・業務用施設改善 LED照明設備への交換／事務所棟廊下の改修 など
- ・アメニティー設備 事務所棟ラウンジの再整備／シャワー室の設置 など
- ・バリアフリー対策 地盤沈下に伴うアプローチの点検と改善 など

② 防災対策の強化

自然災害や火災などから命を守り、業務継続に貢献できる施設づくりを進めます。
また、津波避難施設、民間物資拠点の運用方法等の整備を進めます。

【主な取組み】

地震、津波・高潮対策、ライフラインの維持等について、長期修繕計画の第2ステージ(2021～2025年)の見直しとともに、効果的な対策を検討し、取組みます。

I 安全安心、環境にやさしい魅力ある施設の提供

③ 長期修繕計画の着実な実行

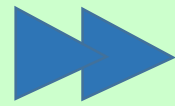
施設・設備の修繕工事等を計画的に行い、機能の維持向上を図ります。
第2ステージ以降を、検証・点検し、長寿命化も踏まえ見直しします。

④ 環境保全の取組

緑地の適切な管理とともに、省エネルギーや温室効果ガスの発生抑制の取組みを進めます。

⑤ 国際コンテナ戦略港湾に対応した機能の強化

国際コンテナ戦略港湾の進展に合わせ、横浜港の物流機能に貢献できるよう設備・機能の改善や施設の運用を進め、関係機関との連携も進めます。



Ⅱ お客様が満足できる施設運営

ハード(施設)を活かす、ソフトの充実に取組みます。

① 迅速かつ適切な維持管理

施設・設備の日常点検や清掃を確実に実施し、安心して快適にご利用いただくとともに、施設管理事業者と緊密に連携し、お客様の声に迅速・適切に対応します。

【主な取組み】

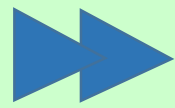
- ・設備維持管理システムの導入 など

② サービスの向上

お客様第一の行動を基に、日頃から社員一人ひとりがサービスの向上に取り組めます。
お客様とのコミュニケーションを心がけ、ご要望には、丁寧な対応や迅速な改善に取り組めます。

【主な取組み】

- ・お客様アンケートの実施 など



Ⅱ お客様が満足できる施設運営

③ 迅速・確実な情報提供

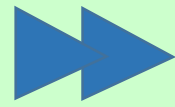
施設の管理運営情報、防災情報など、情報の収集と複数のツールを活用した迅速・確実な提供に取り組めます。

【主な取組み】

- ・HP入居者専用ページ、サイネージの更なる活用 など

④ 火災・地震等への安心の備え

物流棟専用部・共用部、事務所棟では、損害保険代理店として、損害保険の加入を勧め、お客さまに安心してご利用いただきます。



Ⅱ お客様が満足できる施設運営

⑤ 総合保税地域の充実

総合保税地域の適切な運営とともに、機能のPR、お客さまへの情報の提供などにより、活用を進めます。

【主な取組み】

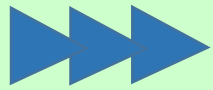
- ・総合保税地域の管理規定など、基本情報の定期的な提供

⑥ 物流棟管理組合や入居者との協働

物流棟管理組合の事務や運営を、適切かつ誠実に履行するなど、組合員等と良好な関係を築き、魅力ある施設づくりを共に進めます。

【主な取組み】

- ・物流棟管理組合事務と運営、Y-CC会事務



Ⅲ 地域社会への貢献

① 貢献活動の推進

企業市民として、入居企業が活動しやすく、従業員が働きやすい地域環境づくりに向け、管理者や地域団体等と連携し、取組を進めます。

また、自然災害における避難施設等としての機能を担っていきます。

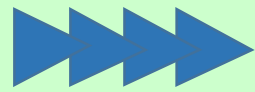
【主な取組み】

- ・周辺道路の清掃等 Y-CC外周道路の清掃、除草、低木刈込 など
- ・津波避難施設 避難者等への休憩場所や食料等の提供
- ・大黒ふ頭への通勤体系の整備への協力

② 活動のアピール

【主な取組み】

- ・環境報告書、CSR報告書等



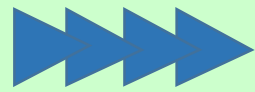
IV 財務、組織の充実

① 安定経営を支える売上の向上

I 安全安心、環境にやさしい魅力ある施設の提供、II お客さまが満足できる施設運営を進めるとともに、「営業の強化」に取組み、高い入居率を確保し、売上の向上を目指します。
また、新たな事業の取組について、研究を進めます。

【主な取組み】

- ・お客様との対話を基に、顧客の動向、入居相談等の情報の収集・蓄積
- ・倉庫事業者等へ、Y-CCの特徴など、情報を発信
- ・事務室の多角的な利用
- ・賃貸単価の見直し など



IV 財務、組織の充実

② 繰越損失の早期解消

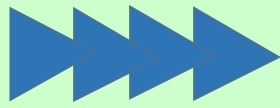
売上の向上等に取り組み、純利益を継続して確保し、繰越損失の早期解消を目指します。

③ 借入金の着実な返済

約定により返済します。

④ 資金の自己調達の継続

資金調達にあたっては、市の損失補償を得ず、自己調達を継続します。



IV 財務、組織の充実

⑤ 人材の育成

業務のノウハウや技術を社内で確実に継承します。

社員のスキルアップや能力開発を支援し、主体的に業務運営を担える人材を育成します。

【主な取組み】

- ・固有職員の採用
- ・外部の階層別研修や専門分野研修への参加
- ・スキルアップや事務レベルアップにつながる資格 など

⑥ 将来の運営体制の調査検討

将来の運営体制について、港湾局とともに検討します。

【主な取組み】

- ・株式の取扱いや株主とのコミュニケーションについての検討
- ・事例等の調査、課題と今後の方向性の検討 など